

第4回 岡崎伝心プロジェクト記録

◆テーマ

「幅広い世代のたくさんの人に、^{でんとうげいのう}伝統芸能の楽しさを知ってもらうための作戦を考える」

◆開催概要

日時：2024年11月30日（日）9:30-12:00

会場：岡崎市図書館交流プラザ りぶら

◆参加者

こども委員：11名 大学生ボランティア：4名 大人スタッフ：9名

◆会議の内容

[0] 会議開始前

チームでの活動が多く、なかなかみんなでお話しできないから…と、大学生ボランティアが呼びかけて、会議が始める前の時間、みんなが一つの机に集まる時間を作りました。

普段話すことの少ないメンバーとも知りあうことができ、和気あいあいとしたムードの中みんなリラックスして会議にのぞむことができました。

[1] 発表準備

チームごとに集まり、次回の発表に向けた準備を行いました。

まず、ファシリテーターのかにちゃんが、分かりやすく伝わりやすい発表のコツやヒントを説明。自分たちの意見をしっかりと届けるために何をすればいいか考えました。その後、発表することについて話し合っまとめたり、もぞう紙に分かりやすく書き出したり。とてもスタイリッシュで分かりやすいもぞう紙ができあがっていました。誰がどのように発表するかも話し合いました。



[2] リハーサルと質疑応答

☆司会：かにえ たいが

本番に向けての中間発表を行いました。ここで自分たちの発表に足りないところとか、もっと分かりやすくするにはどうしたらいいかなど、さまざまなことに気づくことができました。

順番にリハーサルを行い、他のチームの発表を「発表評価シート」を参考にしながら聞きました。発表の後は^{しつぎおうちょう}質疑応答の時間。もっと知りたいことやわかりにくい点、発表の仕方などについてたくさんの意見や質問をもらいました。

^{きんちよう}緊張しながらも、みんな大きくてわかりやすい声で、自信をもって発表できました。



[3] 振り返りと本番に向けての話し合い

リハーサルをやって気づいたことについて話し合いました。各チーム様々な質問をもらっていたので、それらについても発表に盛り込んで、さらに分かりやすい発表にするためにはどうすればいいか考える時間となりました。

足りない部分は宿題にして割り振ったり、発表準備のための^{よひび}予備日（12月7日）に活動したりすることで、本番に向けての準備を進めていくことを決めて、今回の会議は終了しました。

◆宿題：前回と同様、各チームで発表に必要な内容を^{ぶんたん}分担して宿題としました。

◆次回：12月21日（日）9:30-12:00 発表本番。